



目次

- ・講演会、総会の報告
- ・理事長挨拶
- ・お知らせ

2018年度アフリカ支援 アサンテ ナゴヤ講演会・総会のご報告

理事 坂光 信夫

平素より私たち NPO 法人アフリカ支援 アサンテ ナゴヤを温かくご支援下さり、誠にありがとうございます。

5月19日(土)に名古屋市昭和区の聖霊病院にて開催されましたアサンテナゴヤ講演会・総会のご報告を差し上げます。当日は快晴で行楽日和でしたが、多くの方にお出かけ頂き、内容の充実した会となりました。

§ アサンテナゴヤのあゆみ

現在までのアサンテナゴヤの活動は2009年の『リサーチの旅』から始まりました。その時のエリアス牧師との出会いがコミュニティセンター建設、200mの深井戸掘削、そして2017年の聖テレサ・アサンテナゴヤ診療所開設につながりました。私たちの歴史としてはさらに2000年までさかのぼります。内海眞副理事長がケニアの首都ナイロビのスラムでの医療活動に初めて参加した時こそが活動の原点だと言えるでしょう。それ以降、アサンテナゴヤは18年間に亘って活動を続けてきました。その間に素晴らしい方々との出会いに恵まれ、ゲム・イーストでの活動では一定の成果を得ることができました。皆様方のご理解とご支援に心より御礼申し上げます。

§ 鈴木佳奈さんの講演



今年の講演会は鈴木佳奈さんを講師にお迎えしました。鈴木さんは看護師で、今年3月までの2年間、JICA 青年海外協力隊の隊員としてケニアの農村での2年間の感染症・エイズ対策活動に携わっていらした方です。アサンテナゴヤとの出会いは2016年の医療キャンプでした。青年海外協力隊の方々には、2013年から毎年医療キャンプにご参加頂いています。鈴木さんは

2016年のメンバーの1人としてゲム・イーストにお越しになり、アサンテのキャンプに参加されました。翌2017年の渡航の際は鈴木さんの任地に出向き、彼女が個人的に支援していらっしゃる HIV 陽性の子どもたちのための保育施設を訪れました。今年からアサンテナゴヤはその施設の支援を開始しております。

「小さな村から見たケニアの現状と課題」と題した鈴木さんの講演は、2年間のケニアでの活動と HIV 陽性の子どもたちの施設についてのお話でした。若い女性がケニアの農村で、地元の人たちと同じ住環境で2年間を過ごすというのは大変なことです。普段は日本人は彼女1人という



環境で、勤務先である病院の状況を少しでも改善すべく尽力されたことがよくわかって、なんとも涙ぐましいものがありました。

質疑応答では、ケニアでの活動を志した動機についての質問もありました。鈴木さんが看護師として、そして個人としての経験から「いのち」について様々な思いを抱いてアフリカに出かけられたことがよくわかりました。彼女の話には会に参加された皆様も心を打たれたことと思います。

§ アサンテナゴヤの支援活動～これまでとこれから



鈴木佳奈さんの講演に先立ち、内海眞副理事長より「ゲム村における医療活動について」と題した講演をさせていただきました。アサンテナゴヤの歴史のご紹介から始まり、RUNELD との共同作業を通じて達成することができた事柄について、改めて皆様にお話いたしました。それは、HIV 陽性率の減少、HIV 検査を受けたことのある方の増加、車の寄贈からセンターの建設、200m の深井戸の掘削、そして昨年設立された聖テレサ・アサンテナゴヤ診療所の開設に至るお話です。

【現在の聖テレサ・アサンテナゴヤ診療所の様子】

今後は、聖テレサ・アサンテナゴヤ診療所の支援、エドワードさんが医療資格を取得するための支援、HIV 陽性の子どものための保育施設への支援が活動の軸になっていくでしょう。そうした今後の計画について、皆様方にわかりやすくご説明させていただきました。

今回は、保育施設を支えてきた鈴木佳奈さんにご講演頂いたことで、アフリカ支援 アサンテナゴヤの今後について、皆様によくご理解いただけたものと思います。



【支援を始めた保育施設】



【300羽の鶏を収容することができる家禽舎】



【すでに飼われている鶏】

* 保育施設を運営するため、子供たちに食事を提供するための養鶏事業の支援開始(平成30年4月～)

§ 総会

講演会に引き続いて開催された総会では、昨年度の事業報告、決算報告、今年度の事業計画案、予算案および役員改選について提示させていただき、全会一致にてご承認いただきましたことをご報告致します。

今回もおかげさまで講演会・総会を盛会のうちに終えることができました。当日は東京や大阪からわざわざこの会に参加するためにお出かけくださった会員の方々もいらっしゃいました。こうして皆様方と直接お会いする度に、私たちアサンテナゴヤの活動は皆様方の温かいお志のおかげで成り立っているという事実を改めて強く感じます。皆様方のご理解とご支援に心より御礼申し上げます。

昨年のニューズレターでは「私たちの活動は大きな転換点を迎えております。」と書きましたが、あれから1年が過ぎ、アサンテナゴヤの活動は次なる目標が見えてきた感じです。今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。



【エドワードさん】

ご挨拶

理事長 石川 佳子

いつも温かいご支援をいただきありがとうございます。

ケニアの農村で小さなテントから始めた私どもの活動も、おかげ様で、10年目の節目を迎えました。その間、二度に亘る大きな募金におきましては、皆様のご協力の下、現地には立派な診療所が建設され、200mの深井戸も人々の健康に役立っています。これまでのご協力を深く感謝申し上げます。

このように現地でのハード面での体制も整いつつあり、また私どもの資金も底をついてきましたので、私達はそろそろ活動をフェードアウトしていこうと考えていました。

ところが、昨年12月、思ってもみないことが起こりました。奈良県のある司法書士さんから突然のお電話がありました。ある方の遺産を当NPO法人に寄付をしたいから、振込先を教えてくださいという内容でした。出先で受けた、あまりにも唐突な申し出に私はポカンとしていた記憶があります。

その時に先方がおっしゃった「少なからずの金額」が当NPOの銀行口座に振り込まれ、その数字を確認した時、私達は事の重大性に身の引き締まる思いがしました。

私達に多額のご寄付を託してくださった方は、生前、真面目に誠実にお仕事を続けられ、国境なき医師団やユニセフなどにもご寄付をされるなどの社会貢献をされてきました。今回、私達アサンテナゴヤを選んでくださった理由を司法書士さんにお聞きしたところ、アフリカで医療活動や井戸の掘削をしており、子どもたちの教育支援もしているからということでした。

過日、私達アサンテナゴヤの理事会のメンバーは奈良県のこの方の墓前にお参りさせていただきました。その際、ご遺族である弟さんにもお会いすることができました。弟さんからもお兄さんの意思を受け継いで、アフリカの人達のためにお金を使ってくださいと、おっしゃっていただきました。

また、先日は愛知県内のある方からもご主人の遺された遺産を有効に使っていただきたいと、多額のご寄付を賜りました。

私達は、このように皆様から託されたお金を大切にに使わせていただき、ケニアの人々や子供たちのために、もうしばらく活動を続けて参りますので、今後ともご理解・ご支援の程、よろしくお願い申し上げます。

お知らせ

- * 2018年7月16日 サマーセミナー参加
- * 2018年8月2日 高山市本町通り バザー
- * 2018年9月14～24日 2018年度ケニア渡航
- * 2018年10月(予定) 高山市役所前 バザー

*平成29年11月19日から平成30年5月28日までにご支援をいただいた皆様(敬称略)

杉崎卓也、ひがくの湯、榊原薫、野村浩子、岸田義昭、中道弘、神山幹夫、渋谷伸子、尼子道子
一宮中ライオンズクラブ、板橋市シティマラソンアフター、坂光信夫、加藤万理、小田賢一、小田キミエ
片桐初男、中林俊壹、村瀬幸子、木下ゆり、杉山恵美子、石丸佳代子、土屋久仁子、榊原純夫、那須浩正
手取屋瑞子、大下博、島谷倫次、野々山洋子、宮城島拓人、青木孝夫、白野倫徳、石井圭子、小川多恵子
栗村道夫、石田義人、石居尚子、石川佳子、市野健二、谷川正実、杉江修治、(有)ヤマフ土地、鈴木泉
百合草宮子、西尾栄子、林海君、平野吉廣、平川工業(株)、花木達美、山本由紀、石黒博人、今村淳治
真崎満代、真崎康弘、真崎太郎、岡本裕子、小島美恵子、中野朋儀、片岡紀子、合原年子、藤田麻里子
古宮伸洋、古宮圭、村上優、光川千鶴子、徳永シズ子、平澤崇行、衛藤義人、山田洋平、岩田光、森岡悠
村井謙治、木村満、内海みどり、丹羽咲江、大岩洋子、土屋二郎、小川賢二、鳥居富美、杉本みな子
手塚和子、河津芳子、美濃和茂、大澤安則、岡田智子、青山真夕、青山純也、深川善治、宮下悠子
西いずみ、山田君枝、森下理香、安江佐和子、榊本智子、山本直彦、水谷裕子、内海眞、乾朋子
西山英子、日比野福代、日比野丈夫、日比野公治、日比野祐士、住友正武、住友光子、玉木奈美枝
(株)福住、城戸康年、菊地正、ポパイ、細瀧朝美、山内礼子、服部将也、森本明子、竹内仁美
西尾彰泰、見田くるみ、宮本信代、岩崎奈美

*今後ともご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

あとがき

今回は高山在住の女性をご紹介したいと思います。高山市内はもとより、高山近郊で開かれるバザーに年に4～5回参加し、その売り上げにご自身の寄付を加え毎年送金くださいます。医療活動を行った8年間、欠かさず現地で薬を入れる手作りの紙袋(新聞広告を再利用)1000枚と彼女を応援する周りの友人からの提供品、古着等の段ボール10箱程がアサンテに毎年届きました。今年もすでに6箱程、頂いています。この紙面をお借りして「いつもありがとうございます。」と、心からのお礼をお伝えしたいと思います。

ご紹介した彼女を含め、支援者の皆様、お一人お一人の温かいお気持ちとお預かりしたお志を現地の皆さんにお届けすることがアサンテの役目です。今年もその役目を無事果たせるよう、努めたいと思います。 岩崎

事務局：名古屋市東区葵1-25-1 ニッビル906 TEL/FAX：052-933-1588

ホームページアドレス：<http://asante-nagoya.com>

フェイスブックアドレス：<https://www.facebook.com/asante.nagoya>